

地域生活支援拠点 緊急用居室利用状況（令和3年度）

1 緊急受入れに関する相談のあった機関と件数（令和3年4月～令和4年1月）

	受入れあり (n=27)	相談のみ (n=52)	合計 (n=79)
区障害高齢課	8	6	27
区家庭健康課	0	1	1
区保護課	1	3	3
発達相談支援センター	5	3	3
委託相談支援事業所	6	10	4
指定特定相談支援事業所	1	7	4
サービス提供事業所	1	4	1
医療機関（クリニック含む）	1	6	4
本人	1	4	5
警察	1	0	1
保護観察所	1	4	2
その他	1*1	4*2	7

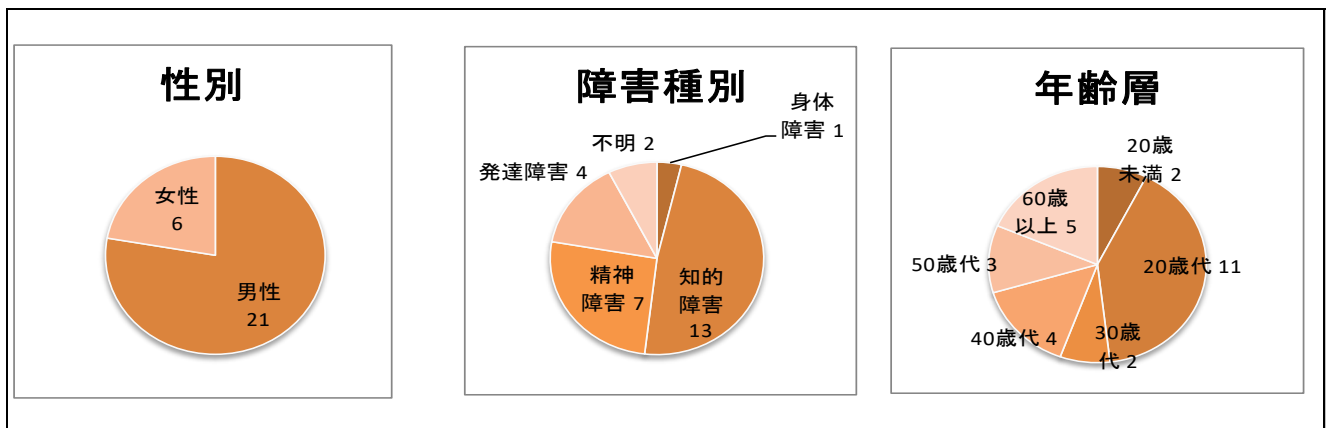
なお、緊急受入れに至った27件は、すべて地域生活支援拠点で受け入れた。

*1 福祉ホーム 1件

*2 宮城県南部自立相談支援センター1件、宮城県地域生活定着支援センター1件、障害企画課、障害者支援課

2 緊急用居室の利用者数（n=27）と内訳（令和3年4月～令和4年1月）

(1) 基本属性



(2) 緊急事態となった理由（緊急受入れケースのみ）

理由	件数	備考
介護者との関係悪化	5	
状態悪化など本人要因	7	
介護者の不在	3	
居所なし	5	

その他	7	自宅修理1件、次の居所の入居日まで利用1件 息子からの暴言1件、妻との関係悪化1件 娘の状態悪化1件 処方箋受取り2件
-----	---	--

(3) 緊急用居室利用延日数

利用日数	件数	備考
3日以内	13	
4日以上7日未満	2	
7日以上14日未満	3	
14日以上30日未満	3	
30日以上	6	30日、37日、39日、48日、56日、65日

(4) 緊急居室利用状況

利用居室数	日数
0室	70
1室	146
2室	49
3室	20
4室	21

※ 介護給付で利用、自費による利用の合計

(5) 緊急用居室利用前後の居所について（令和3年4月～令和4年1月）

緊急用居室利用前の居所	緊急用居室利用後の居所
自宅12件	自宅8件、短期入所1件 共同生活援助（グループ・ホーム）2件 介護保険施設1件
知人宅・ホテル2件	共同生活援助（グループ・ホーム）1件 シェルター1件
医療機関2件	医療機関2件
共同生活援助（グループ・ホーム）4件	共同生活援助（グループ・ホーム）2件 自宅1件、ホテル1件
短期入所1件	短期入所1件
福祉ホーム1件	福祉ホーム1件
介護保険施設1件	現在調整中（緊急用居室利用中）
刑務所1件	共同生活援助（グループ・ホーム）1件
拘置所2件	医療機関1件、アパート1件